

令和3年度第1回
大阪府市地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所評価委員会
議事要旨

- 1 日時 令和3年7月29日（木）15時00分～16時50分
- 2 場所 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所森ノ宮センター4階講堂
- 3 出席者 田中委員長、鈴木委員、土屋委員、福島委員、松浦委員
- 4 議事

(1) 委員長の選出について

田中委員を委員長に推挙する意見が委員から出され、田中委員が当該委員会の委員長に決定された。

(2) 令和2事業年度業務実績に関する評価について

- ・ 令和2事業年度の業務実績について法人より説明を行った後、質疑応答が行われた。
- ・ 次に令和2事業年度の業務実績に関する知事の評価（素案）について、事務局より説明を行った後、審議が行われた。
- ・ 今年度の評価に係る特段の意見はなかったが、次年度以降の法人運営において参考とされたい意見については、以下のとおりである。なお、意見書（案）を事務局で取りまとめ、次回の委員会において提示し、検討することとした。

<主な意見>

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全国的に関心の高まった疫学調査や疫学解析分野において、今回の経験を活かしつつ、ポストコロナを見据えた積極的な事業展開に努められたい。また、引き続き、国立感染症研究所の実地疫学専門家養成コースへ職員を派遣するとともに、地方レベルでの疫学分野専門家の育成を検討されたい。
- ・ 新たな健康危機事象の発生に備え、さらなる機動的な検査体制の構築を進めるとともに、大学をはじめとした他機関との連携に取組まれたい。
- ・ 目的積立金については、引き続き、法人の経営努力を最大限評価するよう制度運用に配慮するとともに、その用途の内容や時期について、計画的に検討されたい。
- ・ 引き続き、地方独立行政法人としての自主性や機動性を発揮して、産業界等を対象とする研修事業や積極的な広報活動など、対外的な業務の拡大を図られたい。また、施設一元化に向け、適材適所の人事配置を行うなど、さらなる組織の一体化に努められたい。

(3) 第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価について

- ・ 第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する知事の評価（素案）について、事務局より説明を行った後、審議が行われた。
- ・ 第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価に係る特段の意見はなかったが、参考とされたい意見については、以下のとおりである。なお、意見書（案）を事務局で取りまとめ、次回の委員会において提示し、検討することとした。

<主な意見>

- ・ 地方独立行政法人の特性である自主性や弾力性を発揮し、新型コロナウイルス感染症感染拡大を契機とした、行政、民間、大学など他機関との連携推進を図るよう検討されたい。

- 検査部門におけるIT化の推進により、検体受付から成績書発行までの一元管理といった信頼性確保にも対応した業務運営の改善に努められたい。
- 次期中期目標期間においては、法人と設立団体がさらなる連携を図り、理事長のリーダーシップのもと、明確な責任体制において法人運営に努め、独法化及び府市統合における効果を最大限発揮されたい。

以上